

図書館だより



高梁中央図書館
(☎22-2912)

開館時間 9:00~17:00 **休館日** 3日(日)、4日(月)、5日(火)、6日(水)、11日(月)、14日(木)、18日(月)、25日(月)

今月のおすすめ

一般書



WOLF
柴田 哲孝／著
KADOKAWA
謎の巨大獣に家畜が襲われる事件が発生。やがて被害は人間にも及ぶ。フリーライター有賀の調査により浮かび上がったのは絶滅したはずのオオカミ…？ ネイチャー・ミステリー。

児童書



コケシちゃん
佐藤 まどか／作
木村 いこ／絵
フレーベル館
スイスから来たコケシのような顔をした女の子、京ちゃん。堂々としていて、はっきり物事を言う京ちゃんに、内気なみるみは戸惑い…。みんなと仲良くなれる物語。

ちいさいこのへや 図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。親子での参加も歓迎です。

2日☎	きりがみあそび「すずらんテープこいのぼり」
9日☎	おりがみあそび「ぴよんぴよんかえる」おはなし会 (ボランティアグループ「おはなしたまてばこ」)
16日☎	エプロンシアター「バスケットになった魔法使い」
23日☎	ビデオ「そんごくう」
30日☎	こどもまつり (ボランティアグループ「おはなしたまてばこ」)

移動図書館

12日☎	有漢農業構造改善センター前 14:30~15:00 有漢生涯学習センター前 15:10~15:30
15日☎	玉川地域市民センター前 13:00~13:30 落合地域市民センター前 13:50~14:20 中国電力社宅前 14:40~15:10 松原地域市民センター前 15:30~16:00
19日☎	津川地域市民センター前 13:00~13:30 高倉地域市民センター前 13:50~14:20 川面地域市民センター前 14:30~15:00
22日☎	巨瀬地域市民センター前 10:30~11:00 中井地域市民センター前 13:00~13:30 宇治地域市民センター前 14:30~15:00 落合中二公会堂前 16:00~16:30
28日☎	黒鳥ふれあい会館前 10:20~10:50 西山コミュニティハウス前 13:00~13:50 川上児童館前 14:40~15:20

成羽図書館
(☎42-2589)

開館時間 9:00~17:00 **休館日** 毎週月曜日

今月のおすすめ

一般書



人生はZOOっと楽しい!
水野 敬也／著
文響社
65枚のかわいくてユーモラスな動物園の人気者たちの写真と、忘れがちな「大切なこと」を教えてくれるフレーズを収録。裏には偉人のエピソードと名言も掲載。1枚1枚、切り取って使えます。

えほんのよみかせ 10:00から

小学生までが対象で参加無料。

9日☎	小型絵本「ちっちゃなおさかなちゃん」 「わらべうたであそびましょう」 大型絵本「おしゃれなおたまじゃくし」 紙芝居「ももたろう」 工作「折紙」、「わらべうた」も行います (ボランティアグループ「うぐいす」)
-----	--

移動図書館「うぐいす号」

12日☎	老人ホーム成羽川荘 8:45~9:00
26日☎	中コミュニティセンター 9:20~9:30 ささゆり苑 9:40~9:50 吹屋連絡所 10:10~10:30 成美保育園 11:00~11:10 鶴鳴保育園 11:15~11:25 日名神楽公園 11:35~11:50

成羽病院通信

■問い合わせ 成羽病院 ☎42-3111

成羽病院 院長 紙谷晋吾

新年度を迎え、改めて成羽病院の目指す方向性を考えてみました。
2025年問題という言葉を見かけることがとても多くなっています。つまり戦後の第一次ベビーブームで生まれた団塊の世代が75歳となり、後期高齢者の仲間入りをし始めることで、2025年以降に予想されている人口構成の変化や、少子高齢化社会に対応できる医療・介護の提供体制の整備が急務とされています。そのために提唱されている地域包括ケアシステムの構築のため、全ての医療・介護・福祉が協働して、住民一人一人が住み慣れた地域にできるだけとどまり、生活できる体制作りが必要とされています。



成羽病院も新築後3年目に入り、電子カルテの整備も終わりました。現在は病院で医療を提供することや在宅の患者さんの緊急受け入れも大切な役割ですが、さらに近隣のお宅に出向いて在宅医療を積極的に支援できるようにと、訪問診療・訪問看護に力を注ぐ方向で活動を始めました。昨年、川上訪問看護ステーションの成羽事業所を院内に開設し、共同して在宅医療を推進していきたいと思っております。

また、昨年、新設された病床(地域包括ケア病床)を開設して、在宅医療への架け橋として活用し病院の存在意義を高めていきたいと考えています。

学園だより

入学宣誓式を挙行了しました

4月3日(金)、吉備国際大学及び順正高等看護福祉専門学校の合同入学宣誓式を行い、新入生625人が期待を胸に本学での新生活をスタートいたしました。

桜が満開に咲き誇る中、これから始まる新生活に不安と期待の入り交ざる新入生を前に、吉備国際大学・眞山滋志学長と順正高等看護福祉専門学校・津尾佳典校長から、新入生の入学が許可されました。

今年度より新たに吉備国際大学学長に就任した眞山学長は、「自らの未来を実現するための成長という自己改革に気力いっぱい挑戦され、確かな実践力を培って世界に飛躍されますよう心から祈念致します。"Challenge for change!"と式辞を述べ、津尾校長は「新しい生活をスタートさせるにあたって、ぜひ挑戦し続けるこころを持ち続けてください」と激励しました。また、順正学園・加計美也子理事長は「この美しい自然に囲まれたキャンパスの中で、志と目標を見失うことなく、キャンパスでの青春を謳歌してください」と告辞しました。そして、新入生代表が「入学の上は、学則を守り勉学に励み、人格の向上に努めます」と宣誓しました。



本年度も、こうして無事に新入生を迎えることができ、教職員一同、市民の皆様にご心より感謝申し上げます。学生たちも高梁での新生活に、当初は不慣れな点も多いかと思いますが、どうか温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

■問い合わせ 順正学園 入試広報室 ☎0120-25-9944